

企画名	「第6回 臨床研究デザイン道場」： 第3の因子を攻略する
企画 責任者	大野 每子 （唐津市民病院きたはた）
目的 概要	<p>統計解析は、<u>データを取った後の対策</u>です。質の高い臨床研究を遂行するためには、<u>データをとる前に</u>、研究デザインをしっかりと行い、「臨床研究の基本設計図」を作成する必要があります。</p> <p>【学習目標】</p> <p>(1) この道場は、「臨床研究の基本設計図」を作るための第一歩を学ぶシリーズです</p> <p>(2) PC 連合学会の研究助成を受けるために、優れた「基本設計図」作成のこつを学ぶ</p> <p>(3) 今回は、「第3の因子」を攻略する方法を学ぶ</p> <p>【目標達成のための方略】</p> <p>(1) 事前クイズ、事前資料の講読</p> <p>(2) ミニ・レクチャー：・疑問の構造化、「第3の因子」とは？</p> <p>(3) 「基本設計図（要改善例）」のアップグレードを通じて学ぶ。隣通しで作業</p> <p>【概要】</p> <p>(1) まず、疑問をPECOのような単純な枠組みに流し込む、構造化することを学ぶ（復習）</p> <p>(2) 次に、疑問をモデル化し、第3の因子（特に交絡因子）について学ぶ</p> <p>(3) 学会の研究助成制度に応募するためには、このWSに参加しておく必要があります。助成制度の概要の説明もします</p> <p>【対象】プライマリ・ケアに関わる全ての医療者</p> <p><b><u>※研究助成申請予定者は、定員が限られますので、早めの登録をお願いいたします。</u></b></p>